

熊本県開催<火の国ラウンド>



H25.12.14(Sat)

熊本県立総合体育館

師走に入り、お忙しい時期にもかかわらず、九州各県はもとより、広島県や茨城県からも参加いただき、31名の会員が集まり開催することができました。“火の国の熱い会”に、多くの方々がお集まりいただき心から感謝いたします。

1 トピックス「全国の実践から学ぶーよい授業とは？」



今回は、流通経済大学の柴田一浩 准教授から、剣道授業における教材とその活用について紹介がありました。特に女子生徒に対しては恐怖心を無くし活用しやすい教材であり、活発な授業展開につながるものと感じました。



2 シンポジウム「体育的学力を保障する小学校体育の授業づくり」

【コーディネーター】菊池北小学校 佐藤政臣 教諭

【パネラー】①不知火小学校 塩村勝正 教諭 ②熊大附小学校 西村正之 教諭
③花房小学校 坂本一真 教諭

まず、「体育的学力を保障する授業づくり」として、次のような3本の実践報告がありました。

塩村先生からは、運動の動きのおもしろさ（魅力）に触れさせ、子供達を「運動に夢中にさせる」実践例の報告があり、「運動の機能的特性に応じる教材づくり・場やしかけづくり」の視点が示された。

西村先生からは、低学年の子供たちでもネットを挟んだ攻防の楽しさが味わえるように開発した『ボンバーゲーム』の取組の紹介があった。子供たちが、ゲームにおいて、楽しみながら「投げたり、捕ったりすること」を繰り返すなかで、徐々に最適な「投捕動作」等を身に付けていく姿について報告があった。

坂本先生からは、第6学年の鉄棒運動の実践が紹介され、技能のポイント系統表を活用して、課題解決的な学習に取り組み、個に応じた支援を的確に行ったことで、技の習得率が向上したという報告があった。
※3実践とも、体育的学力の「何を・どのように保障するのか」が明確で、その成果を共有できました。

3 実践報告「山鹿から意識改革」～中学校の授業実践～

菊鹿中学校 北本憲仁 教諭 鶴城中学校 丸山喜寛 教諭



まず、北本先生から本年度熊本県中学校保健体育研究発表大会で発表された、「学び合いの中で学習意欲を高め、自主的に保健体育学習に取り組む生徒の育成 ～学習内容を明確にした指導方法の工夫～」について、山鹿市の取組みを発表していただきました。

山鹿市中体研では、学習内容が明確に示された「単元構造図」の作成や4観点の中でも「態度」の内容について研究され、他教科以上に直接的に重視して取り組むことができる教科であることを発表授業で実践されました。肯定的な雰囲気づくりによる、自然に歓声や声が出る生徒の姿が終始見られ、参観の先生方も大変参考になる授業でした。また、丸山先生からはタブレットを活用して学びあいの中で課題解決を図っていくハンドボールの授業も発表会当日の授業風景を交えながら報告されました。

4 質疑応答及び意見交換

シンポジウムや実践報告を中心に質疑の時間を設けられ、楽しい雰囲気の中にも真剣に積極的な情報交換が行われました。佐藤先生から指導と評価について説明され、その中で技能と態度の評価を同じ時間には行わないほうが望ましいことや、知識を学んでから思考判断という点は、改めて確認をすることができました。3時間はあっという間に終わり、足りない部分は夜の情報交換でさらに深まったのではないのでしょうか。